令和3年度 芦屋町保健事業報告

○母子保健事業

1.健康教育·相談事業

(1) 母子健康手帳交付

対象:妊婦

時期:毎月第1・3月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)9時30分~12時 (その他随時)

内容:母子健康手帳の使い方の説明・保健指導(日常生活・栄養について)

妊婦健康診查:14回 妊婦歯科健康診查:1回

母子健康手帳交付状況(人)

年度	妊娠届出数	転入	合計
元年度	96	12	108
2年度	76	11	87
3年度	80	11	91

妊婦の年齢(人)

年度	~19 歳	20~34 歳	35 歳以上	合計
元年度	1	73	22	96
2年度	1	55	20	76
3年度	1	57	22	80

妊娠週数(人)

年度	~11 週	12~19 週	20~27 週	28 週~分娩	不詳	合計
元年度	89	7	0	0	0	96
2年度	69	6	0	1	0	76
3年度	73	6	1	0	0	80

母子健康手帳交付時に、保健師が全ての妊婦または代理人と面接し、妊婦の体調確認や育児等への 不安の解消に努めている。

また、母子健康手帳交付後には妊婦と胎児の体調伺いのため、電話相談を実施している。妊娠 5 カ 月頃の全妊婦、支援が必要な妊婦には 8 カ月頃に再度電話を行い、妊婦健診受診確認や妊娠中の不安 等について相談を実施している。

平成 29 年 3 月より、妊娠期から子育で期までの切れ目のない支援を行うため子育で世代包括支援センターを開設した。その中で令和 3 年度は、手厚い支援を要する妊産婦 2 人(若年、入籍未定、入籍予定なしの妊婦等)へ支援プランを作成し、フォローを行った。

(2) 妊婦健康診查·妊婦歯科健康診查

年度	妊婦健康診査受診数	妊婦健康診査受診者	10 回以上受診率	妊婦歯科健康診査
	(回)	(人)	(%)	受診者(人)
元年度	1,141	145	97.4	$\overline{37}$
2年度	1,005	142	96.5	15
3年度	966	123	96	19

(3) 不妊治療費助成事業

年度	助成延件数(実件組)
元年度	8 (5)
2年度	12 (5)
3年度	9 (7)

平成 28 年度より、不妊治療を受けている夫婦に対して、不妊治療等に要する費用の一部の助成を開始した。徐々に助成件数が増えてきている。平成 28 年度より、22 組の夫婦に助成をし、そのうち 19 組が母子健康手帳交付に至った。また、令和 4 年 4 月現在、19 人の子どもの出生が確認できている。

(4) ハローbaby 教室(両親学級)

対象:妊婦とそのパートナー

時期:4月11日(日)·10月17日(日)·12月12日(日) 9時15分~12時30分

※新型コロナウイルス感染症対策のため8月を10月に延期

内容:自己紹介、赤ちゃんを迎えるための話、パパの妊婦体験・沐浴実習、お産の

イメジェリー、マタニティヨガ等(助産師)、妊娠中の栄養についての話(管理栄養士)

実施状況

	参加者数		
元年度	21 組(37 人)		
2年度	9組(18人)		
3年度	11 組(21 人)		

参加者へのアンケートでは「勉強になった」「お風呂入れが楽しかった」などの声が聞かれた。また、 産婦人科等で開催される両親学級は新型コロナウイルス感染症の影響により夫婦での参加ができない ことが多いが、町の教室は夫婦 2 人で参加できるため好評であった。教室への参加を通して、子育て の情報だけでなく、夫婦で協力していくことの大切さや、子どもを迎える心構えも学んでもらってい る。

教室の周知は母子手帳交付時や保健師による体調伺いの電話の時に行うようにしている。

(5)すくすく広場(育児学級)

子育て支援センターの事業のうち、栄養講話のみ健康づくり係が執務している。

対象: $0\sim6$ 歳までの子どもと親

時期:毎月第1火曜日 10時~12時(下記以外は子育て支援センタースタッフが実施)

内容:栄養講話、個別相談(12月)

実施状況

JCME V CDC				
	回数	参加者数	: (人)	計
	凹刻	子ども	親	日日
元年度	1	4	4	8
2年度	1	10	9	19
3.年度	1	4	4	8

子どもの健康だけでなく生活習慣病などの大人の健康についても話を聞きたいとの要望があった。

(6) ぱくぱく料理教室

対象:乳児と保護者 時期:12月7日

※新型コロナウイルス感染症の影響により3回中止(6・9・3月開催分)

内容:調理実習及び試食(管理栄養士)

実施状況

	回数	参加者数	: (人)	計
	凹剱	子ども	親	日日
元年度	3	16	15	31
2年度	3	12	13	25
3年度	1	4	4	8

離乳食作りを体験したいとの声が多かったため、「大人の食事からとりわけ離乳食を作る教室をぱくぱく料理教室を実施している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調理実習を伴わない形で離乳食教室として実施したが、令和3年度は調理実習を含めた教室で実施した。

実際に作ってみることで、1回分の量や固さなど実感していただいた。

(7) 育児相談

対象:子育て支援センター利用の子どもと親

時期: 奇数月 第2月曜日

※新型コロナウイルス感染症の影響により1回中止(9月開催分)

内容: 育児相談(保健師)、栄養相談(管理栄養士)

実施状況

> 4/4 L V V D L				
	回数	相談者数	: (組)	計
	凹剱	町内	町外	ĒΙ
元年度	5	12	10	22
2年度	4	22	9	31
3年度	5	13	3	16

新型コロナウイルス感染症の影響で子育て支援センターの利用制限もあり相談者は少なかった。

(8) 離乳食相談

対象:子育て支援センター利用の子どもと親(※要予約)

時期:偶数月 第2月曜日

※新型コロナウイルス感染症の影響により3回中止(6月、8月、2月開催分)

内容:離乳食相談(管理栄養士)

実施状況

	回数	相談者数	(組)	計
	四刻	町内	町外	μΙ
元年度	6	14	9	23
2年度	3	11	2	13
3年度	3	4	7	11

離乳食の講話を行い、その後個別相談を受けている。育児相談にも参加し、毎月経過を相談する 人も多い。離乳食の進め具合や月齢に合わせてアドバイスを行っている。

(9) 食育教室:日曜日支援センター (中止)

対象:子育て支援センター利用の子どもと親(※要予約)

時期:新型コロナウイルス感染症のため中止(年4回予定)

内容:親子でできる食育体験(管理栄養士)

実施状況

	回数	参加者数	: (人)	計
	四刻	大人	子ども	ПI
元年度	3	23	34	57
2年度	0	-	-	-
3年度	0	-	1	-

令和元年度から子育て支援センターの日曜開所に伴い実施しているが、調理実習や試食などは感染 リスクが高いため中止とした。

(10) ほほえみ相談

対象:幼児(※要予約)

時期:年12回

午前10時~正午:子育て支援センターまたは中央公民館

午後1時~5時:1歳6カ月児·3歳児健康診査会場(町民会館)

または子育て支援センター

内容:臨床心理士による言語訓練・発達相談

相談者数

	実人数	延人数
元年度	42	54
2年度	31	42
3年度	56	67

子どもの年齢 (歳)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計 (実人数)
0	6	12	14	12	5	5	0	0	2	56

1歳6カ月児・3歳児健康診査の中で、臨床心理士による相談を実施し、少しでもことばや発達の遅れが気になる子どもがいれば、その場で相談を受ける体制をとっている。年齢別に見ると、健康診査後にほほえみ相談でフォローするため 2~4歳の児の相談件数が多くなっている。また、ほほえみ相談でフォローし療育へつなげるケースも多い。就学に影響する場合もあるため、医療機関や保育所、幼稚園、教育相談員、学校、児童相談所等、他機関との連携を取っている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で日程が変更になり、相談者数が減少していると考えられたが、令和3年度は予定通り実施され令和2年度より相談者数は増加している。

(11) ほほえみ教室

対象:幼児(※要予約)

時期:年7回 ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5回中止

午前10時~11時30分:子育て支援センターまたは中央公民館

内容:小児療育を得意とした保育士による親子遊び

参加者数

多为中日 外	⊘ //F □ % /				
	実人数	延人数			
2年度	7	19			
3年度	8	25			

子どもの年齢 (歳)

1	2	3	4	5	6	合計 (実人数)
0	0	5	2	1	0	8

早期療育につなげるために、ほほえみ教室(親子教室)を令和2年度より開始した。ほほえみ相談者のうち支援が必要と判断された幼児には、教室を案内した。教室では、親子に対して人と関わることの楽しさや社会生活を送る上での必要な技術を教えることで、乳幼児の健全な発達に向けて支援している。

(12) 産後ケア事業

対象: 育児支援を特に必要とする産後1年未満の母子 場所: 遠賀郡・中間市内の産婦人科医療機関・助産所

内容:助産師等の医療専門職による母親の心身のケアや授乳の相談・指導、

育児に関する相談・指導等

利用者数

	実人数	延人数
3年度	2	5

<サービス別利用者数>

デイサービス型

7 1 9	レハ王	
	実人数	延人数
3年度	1	3

ショートステイ型

		実人数	延人数
3年度	1泊2日	1	1
3 平度	2 泊 3 日	1	1

出産後に心身の不調または育児不安等がある母親に、助産師等の医療専門職が母親の身体的回復、心理 的安定、乳児のケア等、母親の育児を支援するために令和3年度より開始した。

令和3年度は、広報・ホームページで周知したほか、母子健康手帳交付時や赤ちゃん訪問・乳幼児健康 診査等で周知したが利用者が少なかった。今後、周知方法やサービス内容、申請方法など、支援が必要な 母親が利用しやすくなるように検討する必要がある。

2. 健康診査事業

(1) 0 歳児健康診査

対象:4カ月児・10カ月児 時期:年12回-4カ月児 年12回-10カ月児

内容: 問診・身体計測・小児科診察・産婦歯科診察(4カ月児の母親)・歯科指導(10カ月児)・

ブックスタート事業 (4カ月児)・保健指導・栄養指導

受診状況

20 VIII				
		対象児数 (人)	受診児数(人)	受診率 (%)
元年度	4カ月児	75	69	92.0
九十尺	10 カ月児	66	63	95.5
2年度	4カ月児	107	95	88.8
4 干皮	乳幼児相談会	83	56	67.5
3年度	4カ月児	84	81	96.4
3 平度	10 カ月児	106	100	94.3

産婦歯科診察受診状況

	対象者数	受診者数	受診率
	(人)	(人)	(%)
元年度	75	62	82.7
2年度	107	91	85.0
3年度	83	74	89.1

乳幼児健康診査票は0歳から3歳まで連続して記録できる様式にして継続した支援ができるようにしている。実施方法は、受付時間を調整するなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行った。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10カ月健診を中止して乳幼児相談会を実施したが、令和3年度は予定通り実施し令和2年度に比べ受診率は増加している。

4 カ月児健康診査の対象児の母親には産婦歯科診察を実施しており、母親のう歯予防にも継続して 取り組んでいる。産婦歯科診察時、う歯がある場合は歯科受診勧奨をしている。10 カ月健康診査時、 歯科受診状況を確認し、未受診の方には再度歯科受診勧奨している。また 10 カ月児健康診査では、 歯科衛生士による教育・相談を実施し、子どものう歯予防に取り組んでいる。

(2) 1歳6カ月児健康診査

対象:1歳6カ月児

時期:年4回(令和3年度から乳幼児健康診査の日程・回数変更)

内容:問診・身体計測・小児科診察・歯科診察・歯科指導・保健指導・栄養指導

受診状況

	対象児数(人)	受診児数 (人)	受診率 (%)
元年度	86	72	83.7
2年度	96	84	87.5
3年度	105	99	94.3

健康診査会場で、臨床心理士によることばや発達の遅れが心配なケースの相談(ほほえみ相談) を実施した。

(3) 3 歳児健康診査

対象:3歳児

時期:年4回(令和2年度から乳幼児健康診査の日程・回数変更)

内容:問診・尿検査・身体計測・小児科診察・歯科診察・歯科指導・保健指導・栄養指導

受診状況

	対象児数 (人)	受診児数(人)	受診率 (%)
元年度	116	114	98.3
2年度	105	97	92.4
3年度	95	89	93.7

健康診査会場で、臨床心理士によることばや発達の遅れが心配なケースの相談(ほほえみ相談)を実施した。

※令和3年度乳幼児健康診査結果

小児科診察結果(人)

	0 歳児	1歳6カ月児	3歳児
異常なし	145	80	75
既医療	1	0	0
要経過観察	28	15	10
要精密・要治療	7	4	4

歯科診察結果

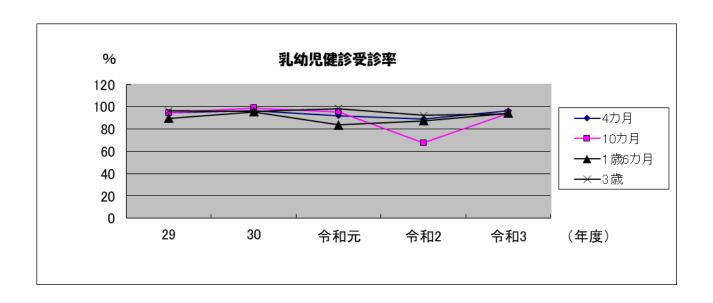
	1歳6カ月児	3歳児
う歯(人)	2	9
う歯総本数(本)	5	39
軟組織の異常(人)	4	3
不正咬合 (人)	9	13
その他の異常(人)	26	10

未受診児の状況と把握方法(人)

	0 歳児		1歳6カ月児	3 歳児
	4 カ月	10 カ月		
他市町村で受診、受診結果把握	1	0	0	0
他医療機関で受診、未受診者アンケート実施	0	0	0	0
健診日都合つかず、未受診者アンケート実施	0	3	1	0
健診日都合つかず、次年度受診勧奨	0	1	5	5
健診日都合つかず、転出	1	0	0	1
その他	1	1	0	0
計	3	5	6	6

3 歳児健康診査の次は、就学前まで健康診査がないため、未受診者をできるだけ出さないよう勧奨するとともに、乳幼児健康診査で未受診になった場合は訪問や手紙等でアンケートを実施している。

未受診者については、担当職員によるフォローの状況を確認するとともに、訪問やすくすく発達相談時に必ず子どもの確認を行うようにしている。未受診者で手紙や昼間の訪問でも連絡が取れない人には、町内の保育所等に通所している場合は保育士から保護者へ伝言してもらい、保護者から保健師へ連絡してもらうようにしたり、保育所で面談出来るように保育所と調整したり、すくすく発達相談で保育所等に出向いたときに、担任に生活状況等を確認することもある。それでも連絡が取れない場合は、夜間訪問(18 時~20 時)を実施している。



(4) 2 歳児歯科相談

対象:2歳児

時期:奇数月第2金曜日または第4金曜日

内容:歯科診察・歯科集団指導(初回のみ)・フッ素塗布・個別歯科指導・保健指導

実施状況(人)

> 4/4 C / 1/2 C	() •/		
	新規対象者数	新規受診者数	再来受診者数
元年度	87	71	78
2年度	96	77	47
3年度	100	84	50

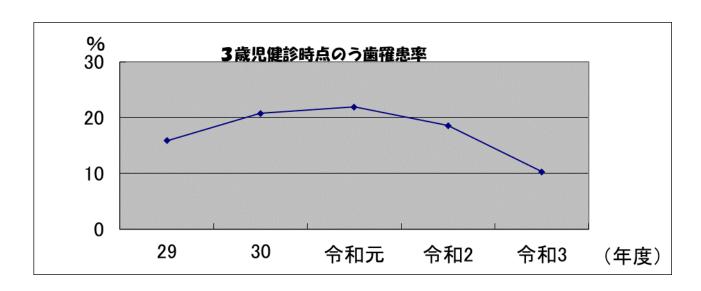
歯科診察結果

う歯 (人)	1
う歯総本数(本)	10
軟組織の異常(人)	4
不正咬合(人)	9
その他の異常(人)	12

1歳6カ月児健康診査から3歳児健康診査の間にう歯罹患率が増加するため、引き続き各健康診査 での指導や2歳児歯科相談での指導及びフッ素塗布の勧奨を徹底していかなければならない。

2歳の間にフッ素塗布を3回受けられるようにしていたが、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で受診人数を調整するため、フッ素塗布の日程を町で指定して案内した。そのため、1歳6カ月児・3歳児健康診査時にもフッ素塗布を実施し、3歳児健康診査までに3回フッ素塗布が受けられるように対応した。

令和 4 年度からは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として受付時間を調整し、2 歳の間にフッ素塗布を3回受けられるように変更して、う歯罹患率の低下に努める。



○成人保健事業

1.健康教育事業

(1) からだ、ゲンキ! 教室

対象:19~74歳の国民健康保険加入者で当年度に若者健診または特定健診を受診する人

時期:4月 12日~3月 7日の毎週月曜日(祝日を除く) 午前 10 時~11 時 30 分

(全24回)

※新型コロナウイルス感染症対策のため、令和 3 年 5 月 17 日~6 月 14 日、8 月 16 日~9 月 27 日、令和 4 年 1 月 17 日~3 月 7 日の 11 回分の教室の開催を中止。また、その代替日として令和 3 年 10 月 11 日、11 月 22 日、12 月 27 日の 3 回を追加で行った。

場所:町民会館

内容:血圧測定・体力測定(1回)・ストレッチ・リズム体操・栄養講話(2回)・ウォーキング

など

	延人数(実人数)
元年度	714 (29)
2年度	387 (23)
3年度	387 (22)

	, , ,	4 00 14	70代	計
人数 0	0 1	7	14	22

参加者からは「運動習慣がついて体力がついた」「楽しく体操ができている」「週に 2 回ぐらいしてほしい」など好評を得ている。しかし参加者は固定化しており、参加人数も減少してきている。健診結果説明会などで周知しているが新規参加者の加入に至っておらず、動機付け支援、積極的支援対象者には個別保健指導時に継続して参加を促していく必要がある。

(2) みんなで元気になろうや!講座

対象:19歳以上の町民

内容:・保健師による講話

・管理栄養士による講話

・健康運動指導士による講話、トレーニング実践

・ウォーキング

回数・時間:5回コース(月1回5ヵ月間)×2=10回 9時30分~12時30分

※新型コロナウイルス感染症の影響により3回中止(前期2回、後期1回)

年 度	参加者数	(人)	計 (人)
十 及	前期	後期	
30 年度	40	25	65
元年度	33	28	61
2年度	9	34	43
3年度	24 人		24 人

生活習慣病の発症予防・重症化予防のためにテーマごとに分け、全 5 回のコースで教室を実施していたが、令和 3 年度は緊急事態宣言等で教室がたびたび中止となったため、継続コースでの実施ができなかった。講座の内容は生活習慣病予防の知識だけでなく運動やウォーキングなどの実践も取り入れ、より充実した内容を学べるように工夫している。

(3) Men's クッキング(中止)

時期:11月・2月(新型コロナウイルス感染症拡大のため2月は中止)

内容:調理実習及び試食(管理栄養士)

	回数	参加者数(人)
30 年度	2	15
元年度	2	16
2年度	0	-
3年度	1	2

コロナの感染状況によっては開催できない場合もあり、積極的に勧奨をしなかったため、参加 者が少なかった。

(4) ふれあいクッキング(中止)

時期: 10月・3月(新型コロナウイルス感染症拡大のため3月は中止)

内容:調理実習及び試食(管理栄養士)

	回数	参加者数(人)
30 年度	2	16
元年度	2	13
2年度	0	-
3年度	1	10

コロナの感染拡大によって実施できない時期が長かったため、久しぶりに開催されてうれしい との声が聞かれた。

(5) 出前講座

月日	内 容	対象	参加者数(人)
12月16日	子どもの成長と食生活	山鹿小学校	12 人
		PTA 成保委員会	

学童期に必要な栄養についての講話と調理実習を行った。

<u>(6) 健康づ</u>くり講演会(中止)

特定健診・がん検診に関心を深めてもらうために、医師の協力を得て講演会を開催している。同時に健康フェアを行うことで、より理解を深めてもらうことできるようにしているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止とした。

月日	内 容	講師	参加者数(人)
4月22日	「人生 100 年時代の新養生訓	原 寛 先生	中止
	-私が実践する元気で長生きする方法-」		
9月22日	健診で見つかりにくい病気	小野村健太郎 先生	中止

2.健康相談事業

(1) 健診後健康相談(健診結果説明会)

対象:特定健診受診者

時期:健診後1カ月以内 9時00分~10時30分

実施状況(人)

	対象者数	相談者数	訪問	郵送
元年度	542	449	73	20
2 年度	476	395	3	78
3年度	523	412	9	102

特定健診結果は基本的に本人と面接し説明して渡している。令和元年度までは結果説明会に参加できない人に訪問等で説明を実施していたが令和 2 年度、3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり訪問は希望者以外には実施せず、結果を郵送した。

(2) 文化祭(中止)

例年、健康づくりコーナーを設け、脳年齢・体成分・骨密度の測定、結果説明・健康相談を実施 している。また食生活改善推進会と共同で喫茶コーナーにて健康カフェをおこない、ヘルシー定食 を提供したが令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で文化祭が中止となった。

参加者数(人)

	1日目	2 日目	3 日目
元年度	266	126	69
2 年度	-	-	-
3年度	-	-	-

3. 健康診査事業

健診事業に関しては別添「資料 2」を参照のこと

(1) 骨密度測定

集団健診時に実施(5年に1回)。

受診者数(人)

年齢	40 歳	45 歳	50歳	55 歳	60 歳	65 歳	70歳	計
人数	12	21	27	25	16	31	38	170

骨密度測定対象者に対し、受診勧奨はがきによる個別通知を実施した。

(2) 歯周病健診

時期: R3.6月~R4.2月

実施場所:町内の歯科医院及び中間市・遠賀郡内の歯科医院

受診者数(22人)

年齢	40 歳	50 歳	60 歳	70 歳	計
人数	7	9	1	5	22

(3) 基本健診

生活保護世帯の人を対象に、集団健診時に実施。

受診者数(人)

年齢	40代	50代	60代	70代	計
人数	1	1	1	2	5

○家庭訪問

実施状況(人)

	被 訪 問 延 人 数								
年度	成人	妊産婦	乳児	幼児	その他	合計			
元年度	342	130	104	41	52	669			
2年度	44	138	122	33	37	374			
3年度	41	107	110	20	6	284			

成人に関する訪問は健診の勧奨が主であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により訪問を控えたため訪問数が減少している。訪問ではなく、個別通知による勧奨や電話による勧奨を強化していく。

母子の訪問では生後 2 カ月頃の赤ちゃんへ訪問し、遠方への里帰り等でどうしても訪問できない家 庭以外は全て訪問した。希望者には、里帰り先への訪問依頼を実施した。乳幼児健康診査の未受診児 への訪問も実施した。

<u>○予防接種事業</u>

【小児定期接種】 人、() は接種率%

		ヒブ				小児肺炎球菌			
	1回目	2回目	3回目	追加	1回目	2回目	3回目	追加	
元年 度	90 (118.4)	91 (119.7)	83 (109.2)	83 (93.3)	90 (118.4)	91 (119.7)	84 (110.5)	86 (96.6)	80 (105.3)
	1回目	2回目	3回目	追加	1回目	2回目	3回目	追加	100
2年度	100 (98.0)	102 (100.0)	108 (105.9)	104 (131.6)	101 (99.0)	102 (100.0)	108 (105.9)	102 (129.1)	108 (105.9)
	1回目	2回目	3回目	追加	1回目	2回目	3回目	追加	77
3年度	81 (114.1)	80 (112.7)	77 (108.5)	91 (90.1)	81 (114.1)	80 (112.7)	77 (108.5)	90 (89.1)	77 (108.5)

		四種涯	昆合			不活化和	ポリオ		二種混合
元 年	1回目	2回目	3回目	追加	1回目	2 回目	3回目	追加	0.1
7 1	89	86	85	85	0	0	0	0	91
度	(117.1)	(113.2)	(111.8)	(95.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(81.3)
	1回目	2回目	3回目	追加	1回目	2回目	3回目	追加	105
2年度	105	110	111	85	0	0	0	0	105
	(102.9)	(107.8)	(108.8)	(107.6)	(0)	(0)	(0)	(0)	(80.8)
	1回目	2回目	3回目	追加	1回目	2回目	3回目	追加	0.0
3年度	77	79	82	103	0	0	0	0	68
	(108.5)	(111.3)	(115.5)	(102.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(54.0)

	MR1期	MR2 期	水	痘		B型肝炎	
	80	91	1回目	2回目	1回目	2回目	3回目
元年度	(89.9)	(98.9)	81 (91.0)	91 (100.0)	89 (117.1)	86 (113.2)	84 (110.5)
	98	98 121	1回目	2回目	1回目	2回目	3回目
2年度	(124.1)	(94.5)	95 (120.3)	81 (86.2)	100 (98.0)	104 (102.0)	102 (100.0)
	00	00	1回目	2回目	1回目	2回目	3回目
3年度	88 (87.1)	99 (93.4)	85 (84.2)	87 (114.5)	81 (114.1)	80 (112.7)	66 (93.0)

		日本脳炎			ヒトパピローマウイル		ウイル	ロタ		
						ス感染症				
	1回目	2回目	1期追加	2 期	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
元年度	134 (113.6)	141 (119.5)	115 (101.8)	117 (92.9)	1 (1.3)	0 (0)	0 (0)	_	_	_
	1回目	2回目	1期追加	2 期	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
2年度	108 (113.7)	105 (110.5)	142 (125.7)	145 (135.5)	3 (5.5)	(3.6)	2 (3.6)	33 (194.1)	28 (164.7)	8 (47.1)
3年度	1回目	2回目	1期追加	2 期	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
	75 (72.1)	69 (66.3)	52 (54.7)	40 (35.7)	8 (16.0)	8 (16.0)	6 (12.0)	78 (109.9)	74 (104.2)	18 (25.4)

赤ちゃん訪問・乳幼児健診・就学時健診等で未接種児の保護者に直接勧奨した。

期限が迫っているものに関しては電話で勧奨等行った。(例:1歳6カ月児健診時点でのMR1期(対象年齢1歳の間)未接種者に、1歳8カ月頃電話し接種確認)

ロタウイルスワクチンが令和 2 年 10 月 1 日(対象児は令和 2 年 8 月 1 日生まれ以降の児)から開始となった。

【高齢者定期接種】 人、() は接種率%

	高齢者イン	フルエンザ	高齢者肺炎球菌		
	60~64 歳	65 歳~	60~64 歳	65 歳~	
元年度	3	2,469	0	148	
	(27.3)	(56.6)	(0)	(29.2)	
	60~64 歳	65 歳~	60~64 歳	65 歳~	
2年度	8	3,375	0	154	
	(80.0)	(77.2)	(0)	(31.2)	
	60~64 歳	65 歳~	60~64 歳	65 歳~	
3年度	6	2,586	0	110	
	(60.0)	(59.2)	(0.0)	(22.4)	

※60~64歳は、心臓・腎臓・呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に重度の障がいがあり、医師が接種を必要と認めた A

高齢者インフルエンザ予防接種は、65歳以上の人を対象に実施した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、福岡県が接種料金を全員無料化したため接種率が向上した。令和3年度は、全員無料の制度は実施無しのため、令和2年度より接種率が低下した。

高齢者肺炎球菌予防接種は、平成 26 年度~30 年度の期間における時限措置として、過去に接種歴がない当該年度における 65 歳、70 歳、75 歳、80 歳、85 歳、90 歳、95 歳、100 歳を対象とした。この措置は、令和元年度以降も5年間(令和6年3月31日まで)継続することになった。平成30年度までに接種しなかった人が対象となっているため、令和元年度、2 年度、3 年度は接種率が低くなっている可能性がある。まだ接種していない人に対しては、令和4年度も、引き続き個別周知等を行っていく必要がある。

【風しんの追加的対策】(令和元年度~6年度事業) 人、() は接種率%

	抗体検査	抗体検査を受けた人のうち	定期接種
		陰性	
元年度~	442	83	81※うち2人は、抗体検査は他市町で受けた等
3年度	(28.8)	(18.8)	(97.6)

昭和37年4月2日~54年4月1日生まれの男性に対し、抗体検査を実施。抗体検査結果が陰性の 人に対し、予防接種を実施。

令和 4 年 3 月末に、昭和 37 年 4 月 2 日~54 年 4 月 1 日生まれの男性のうちクーポン券未使用者に対し、改めてクーポン券を送付した。

【麻しん・風しん助成事業】 人、()は接種率% ※県事業

	麻しん	風しん
元年度	36	8 (100)
2年度	(90.0)	11 (100.0)
3年度	_	3 (100.0)

麻しん助成事業は、町内の児童福祉施設等における乳幼児の麻しん感染拡大防止のため、町内の施設等に勤務する職員が予防接種をした場合に費用の一部を助成した。令和元年度から2年度にかけて各施設に事業の説明を行い、40人の接種希望者がいた。この事業の実施は、令和2年度まで。

風しん助成事業は、先天性風しん症候群及び風しんのまん延の予防を図り、町民の健康増進に寄与することを目的として、妊娠を希望する人や、妊娠希望者又は妊婦の配偶者又は同居人が予防接種をした場合に費用の一部を助成した。令和3年度3人の接種希望者がいた。当初令和2年度までの事業であったが、令和5年度まで継続することとなった。

○食生活改善推進会活動

対象:町民 参加状況

事業	実施回数
健康教室 (元気になろうや講座)	2
ぱくぱく料理教室	1
乳幼児健診(1.6 歳児)おやつ配布	中止
献血時おやつ配布	中止
学習会 (会員等)	8
いきいき昼食会(福祉課)	1
各イベント (文化祭、人権祭り等)	中止
広報お弁当写真コンテストの審査	1
食生活改善推進員養成講座	8

新型コロナウイルス感染症のため、多くの事業が中止となった。会員の学習会は人数が多くならないよう2日に分けて実施した。健康な食生活の普及のために、パンフレットの配布などを行い、コロナ禍でもできる範囲の活動を行った。

食生活改善推進員養成講座は令和2年度より延期し、令和3年度の開催となった。新型コロナウイルス感染症拡大により令和3年度中に全8回を実施することができなかったため、令和4年4月、5月に残りの5回を実施し、修了者7名が新規に加入した。

○献血推進事業

対象:満17~69歳までの希望者

時期:一般 年3回(7・11・3月) 成分 年2回(5・9月)

職域 年12回(航空自衛隊芦屋基地、芦屋中央病院)

実施状況(人)

		一般献血			
		うち不採血者	成分献血	骨髄バンク登録者	
30 年度	606	45	13	3	
元年度	762	72	7	4	
2 年度	617	42	3	8	
3年度	690	35	6	6	

[※]献血の際、血液検査を行うため、献血協力者に骨髄バンクの登録を併せてお願いしている。

○骨髄等移植ドナー助成事業

対象:骨髄等の提供者

年度	助成延件数
元年度	0件
2年度	0 件
3年度	1件

骨髄等の提供を行い、入院・通院期間、職場を休むことになった人に対し、経済的負担を軽減するため、1日につき2万円の助成を実施する事業。ドナー登録者に助成事業のチラシを配布し周知している。

○救護活動

町民体育祭や避難訓練等における救護係としての要請を受けて行う活動。新型コロナウイルス感染症の影響により、行事が中止となり、活動の要請はなかった。

○感染症対策

(1) 一定の高齢者等への PCR 検査助成事業

新型コロナウイルスに感染した場合に重症化しやすい高齢者等に対し、早期に感染を発見し感染拡大を防止すること及び、医療提供体制のひっ迫を防止することを目的として、PCR 検査費用のうち1人2万円を助成し、自己負担額7,500円で検査を実施できるようにした。

対象者:自覚症状がなく、本人が希望している人のうち、以下のいずれかに当てはまる人

- ①65 歳以上の高齢者
- ②基礎疾患を有するもの

(60歳から65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の機能に障害を有するもの

回数:1人1回

自己負担額:7500円

実施期間:令和3年4月1日~令和4年3月31日まで

助成件数:2件

○新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生 をできる限り減らし、感染症の蔓延予防を図る。

【接種状況】 人、() は接種率% (7月10日現在 VRS入力データより)

対象年齢	対象者	回数				
		接種者数/接種率				
65 歳以上	4, 366	1回目	2 回目	3 回目	4 回目	
		4, 121	4, 111	3, 929	3	
		(94.4)	(94. 2)	(90.0)	(0.1)	
20~64 歳	6, 853	1 回目	2 回目	3 回目	4回目	
		6, 063	6, 028	4, 588	3	
		(88. 5)	(88.0)	(66.9)	(0.0)	
12~19 歳	1, 064	1回目	2 回目	3 回目	4回目	
		861	851	387	0	
		(80.9)	(80.0)	(36. 4)	(0.0)	
≅ †	12, 283	1 回目	2 回目	3 回目	4回目	
		11, 045	10, 990	8, 904	6	
		(89.9)	(89. 5)	(72.5)	(0.0)	
5~11 歳	790	1回目		2 回目		
		125		116		
		(15. 8)		(14.7)		